



別寒辺牛

2011年1月発行
NO.24

オオハクチョウ飛来のピークが変?!

オオハクチョウも含めたカモ科の仲間、ハクチョウ類・ガン類・カモ類で、北海道には大きく2つのルートがあるといわれています。

一つが、稚内～浜頓別あたりから入って道央を通過し、ウトナイ湖や道南大沼あたりを抜けて東北に下る、通称『北海道中央フライウェイ』。

もう一つが、野付～風連～厚岸湖あたりを通過して、そのまま太平洋上を東北まで直行する、通称『北海道東部フライウェイ』。

双方とも極東ロシアで繁殖し、秋に南下を始めます。途中サハリン沖を飛んで北海道入りするのですが、今年の秋のオオハクチョウの飛来状況は今までにないものでした。

<平成22年度の飛来数の変化>

10月13日	24羽 (初飛来)
10月19日	596羽
10月21日	863羽
10月30日	2,941羽
11月12日	3,278羽
11月20日	3,914羽 (ピーク?)
12月2日	3,471羽
12月10日	1,687羽

例年ですと11月下旬から12月上旬に約4,000羽から約8,000羽の渡りのピークとなるのですが、ここ数年11月後半にピークが来るようになってきました。

さらに今年は、例年ならまだ厚岸湖でアマモを食べているはずの本隊が、既に渡り

きってしまったようで、12月10日にして、例年の寒い時期の越冬数にまで減ってしまっております。

原因は色々考えられるのですが、彼らの繁殖地である極東ロシアも猛暑で、秋もわりと暖冬だったのでしょうか？ それともその逆で、実は寒かった？

大ざっぱな傾向として、渡りの中継の時期である秋から初冬が暖かいと厚岸湖での越冬数は増える、秋から初冬が寒いと越冬数は減る、という傾向が見られていたのですが、今年はその真反対になってしまいました。(まさかこれから増えるということはないと思いますが...)

渡り鳥の動きも、このところの異常気象に左右される時代になったのかもしれない。



先頭は疲れるのよ...

雁行※にリーダーは存在しません。先頭の鳥は、後の鳥たちの風の抵抗を一番受けるので、定期的に変わっていきます。自転車レースを思い浮かべていただければイメージは湧きませんか？



※雁行(がんこう)：主に水鳥が渡りを行なう時に、V字型になって飛行すること。数十から百羽以上になることもある。

タンチョウの幼鳥の続報

今年5月18日にヒナがふ化した、観察館前で繁殖するタンチョウ家族は、12月14日現在も健在であることが確認されました！

前号でも書きましたとおり、今年生まれた幼鳥には、「134」の番号をうった金色の脚輪がはめられています。

例年ですと11月下旬にはその姿が見られなくなるタンチョウのつがいですが、初旬の暖かさもあって湿原がなかなか凍らず、餌が食べられていたようです。といいつつ、太田の採草地での目撃もあり、飛行訓練もかねて別寒辺牛川河口に戻ったり、またどこかに飛んでいったりを繰り返していることが、脚輪の追跡でわかりました。

さてさて、阿寒、鶴居のどちらの給餌場に姿を現すことやら！

タンチョウの事故死

平成22年11月29日(月)、9:06厚岸発根室行き汽車が、9:12分頃、線路上にいたと思われるタンチョウ3羽のうち1羽の頭部と接触し、そのタンチョウは即死しました。

全くの偶然ですが、水鳥観察館専門員澁谷は事後直後の様子を見ており、汽車が停車後、2羽のタンチョウがその場所から飛び立つのを確認。

初めは、観察館前で繁殖しているつがいの幼鳥がひかれたのでは？とドキドキしながらJR職員とそのタンチョウの回収に行ったのですが、飛び去った2羽も成鳥、ひかれたタンチョウも8.2kgとタンチョウの体重

としてはかなり重い立派な成鳥でした。

この時期は、湿原で餌が取れなくなってきて、タンチョウが移動をする時期なのですが、たまたま3羽連れが偶然この場所で事故にあったか、侵入してきた2羽を追い払うために、観察館前で繁殖しているつがいのオスがひかれた可能性も考えました。そして左記の通り、12月14日に家族でこの家族が無事なのが確定されたので本当に安心しました。

ですが、タンチョウに限らず、野生生物の列車事故、交通事故は増える一方です。その原因は種類によってまちまちですが、人間と野生生物との距離の取り方を改めて考えさせられる事件でした。

当選者発表！

恒例の「オオハクチョウ飛来日当てクイズ」には、厚岸町をはじめ全国から合計295名の応募があり、うち15名が見事10月13日の飛来日を当てました！

11月2日に厚岸町長により抽選が行われ、以下の当選者3名が決まりました。

ドンピシャ賞（3名）

賞品：厚岸町の自然の恵み「殻付き牡蠣(カキえもん)」と牡蠣に合うお酒「さくらさく」が入った牡蠣セット

高村さん（北海道別海町）

菅原さん（北海道足寄町）

松山さん（福島県）

ラムサール条約登録湿地 厚岸湖・別寒辺牛湿原 厚岸水鳥観察館だより

☎088-1140

北海道厚岸郡厚岸町サンヌシ6番地

TEL (0153)52-5988 FAX (0153)53-2121

E-mail: bekan@marimo.or.jp

URL: <http://www.marimo.or.jp/AWOC/>

あつけし みずどり かんさつ かん
厚岸水鳥観察館